

石巻市復興・振興 2015年5月15日



石巻市産業経済再生の視点

東北学院大学教養学部地域構想学科

柳井 雅也

022-773-3347

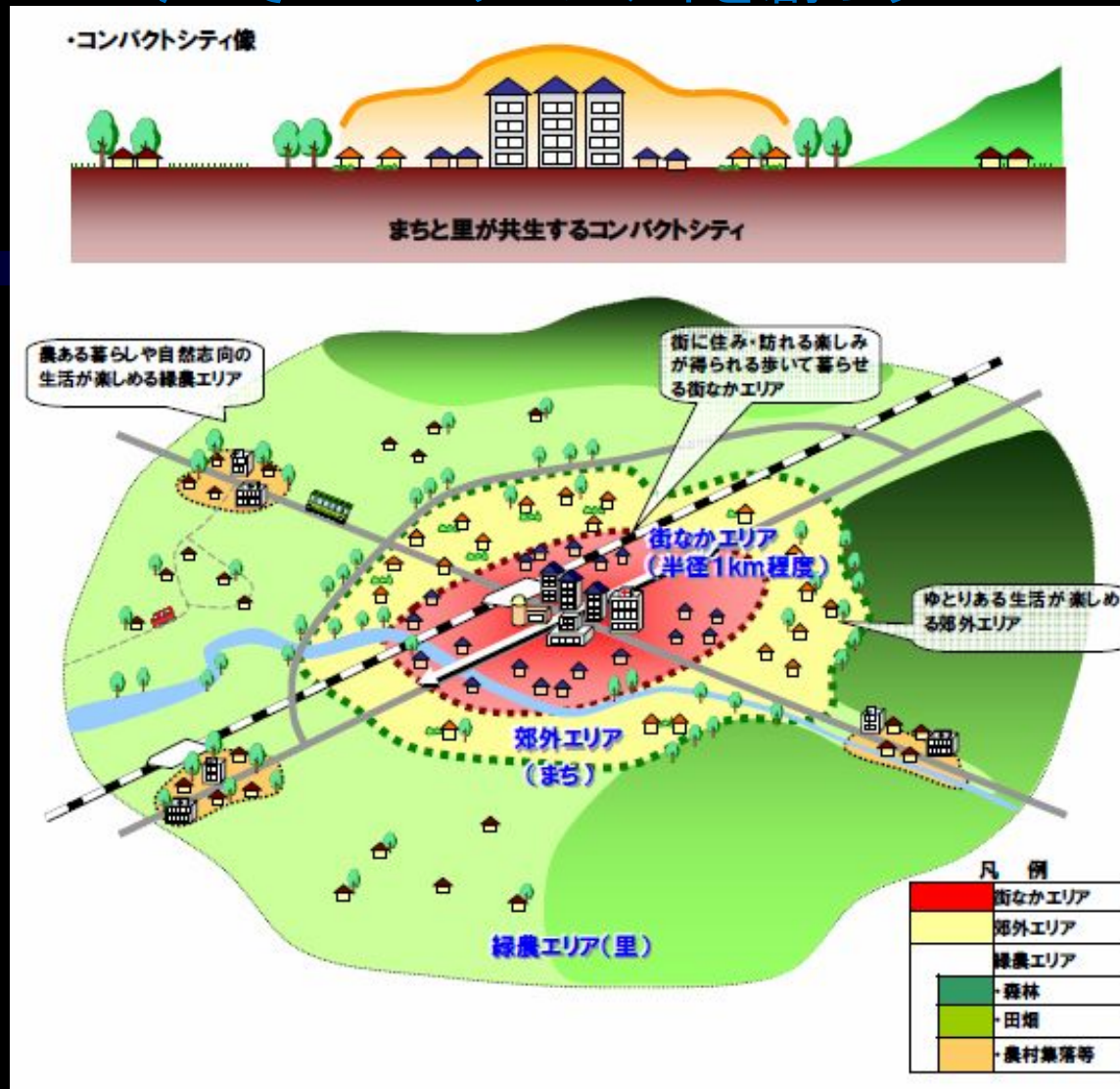
yanai@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp

地域によって異なる相

1. 内陸部
 - ①都市部
 - ②東北自動車道・新幹線沿い
2. 海岸部
 - ①リアス式海岸部
 - ②海岸都市(石巻市など)
 - ③港湾部(仙台港)
 - ④平野部(荒浜、閑上、亘理等)

⇒打ち込む施策は異なるのではないか？

今こそコンパクトシティを創ろう！



石巻市の街のレイアウトは、商業、食品加工産業、新産業をワンストップ型に整備する

石巻市産業経済の課題と復興の視点

【商業】

前提

- 地方中小都市は人口規模が小さくなればなるほど**商業の割合や地位が高くなる**
(福島大学 山川充夫)
- 石巻市商店街は大震災前に既に疲弊(最盛期の半分以下だった)
- 大震災で商店街は壊滅し、マーケットもほぼ消滅した

視点

商業の復興は、「職住分離」ではなく「**職住近接**」とする

⇒ 防災に強く、マーケットを創り出せる**コンパクトシティ**の採用

* 高齢者を高台居住させると「生活不便」「買い物難民化」→その後の行政サービスや行政コストは高つく

- **アイデア**: 商店街の営業意欲調査を踏まえて、鉄骨型系店舗と集約化、立町の国道を市に移管(歩行空間の自由活用)、天井ウォーキング型アーケードの設置(三瓶)、居住地域は盛土もしくは「輪中」の応用、一階部分は駐車場

【工業】

電源確保の為、非常用にガスタービンを設置する、港の耐震化

【漁業】

3階建て以上のRC鉄骨とする(1階は駐車場、2階加工場、3階事務所と電源、屋上は退避場所)

【観光】

中瀬の観光拠点化

【民の力支援】コミュニティ・ビジネス、PFIなど、「民の力」を支援し、取り込む施策が必要ではないのか？ 既に復興の取組み(地産地消)を始めている人・組織がいる

新産業の移植

【スマートシティ構想の立案】

- 石巻市民全体がモニターとなり、新技術の展示場（特に街中や蛇田）になる。太陽電池、二次電池など
- 石巻専修大学を核とした人材育成と国際化の推進：システム設計能力を磨くためプロデューサーをスカウトまたは育成、スマートシティ先進国シンガポールなどから投資を呼び込む

全体結論

「私権」をある程度制限しながら職住近接で復興を図ることが地域活性化につながる